

茨城県潮来町日の出の液状化被害

4月30日、日の出町を調査した。湖沼を埋め立てた団地であるが、中央を東西に走る大通り（日の出中学校を通る）より南側、日の出5～8丁目に被害が大きく、通りの北側の被害は軽微であった。



1. 潮音寺慈母観音の池周辺の側方流動と歩道橋の被害

潮音寺横のひょうたん型の池の周辺は側方流動が見られた。周辺全て池の中央方向に1m程度動いていた。このため、池の中央に架かる歩道橋（浪逆橋）が圧縮され、西側の橋台が傾斜、桁が支承から外れた。支承部の被害はあるが、桁本体の被害はない。



池の周辺には噴砂、地割れが見られる。画面下が浪逆橋。



池周辺の地割れ



浪逆橋（1974年、歩道橋指針1965）



西側橋台、池（左）の方向に移動、傾斜、結果として支承が外れた。



上記、支承部。



東側。橋が抵抗することにより橋台裏の地盤が圧縮されている。



桁は傾いている。



東側の支承



池の西側の道路。右の池に向かって湾曲している。南側から。



上記と同じ道路、北側から。

2. 日の出 6 丁目の池周辺の側方流動



この池の周辺も側方流動している。



地割れ、左が池。

3. 茨城県潮来浄化センター

構造物の被害はほとんど見えないが、周辺地盤は沈下、配管等には被害があると思われる。敷地は周辺より高く盛土されていたが、北側の擁壁が押し出される形で道路が変形していた。



センター入口



施設配置。A系水処理施設は稼働していた（水が流れていた）



随所にこのような段差が見られた。



敷地は数十センチ沈下。



おそらくカルバートがあったか。



浄化センター北側の道路。擁壁が押し出され、路面が盛り上がっている。

4. 歩道の盛り上がり

浦安等でもみられたが、ここでも歩道の盛り上がりが見られた。車道との剛性の違いか。



5丁目。管路の浮上も伴っている。



歩道の盛り上がりにも水路の浮上が伴ったものか。



水路の裏側。鋼矢板を打ち込み、底版を打設、蓋をかけたもののよう。

5. 住宅などの被害





以上